

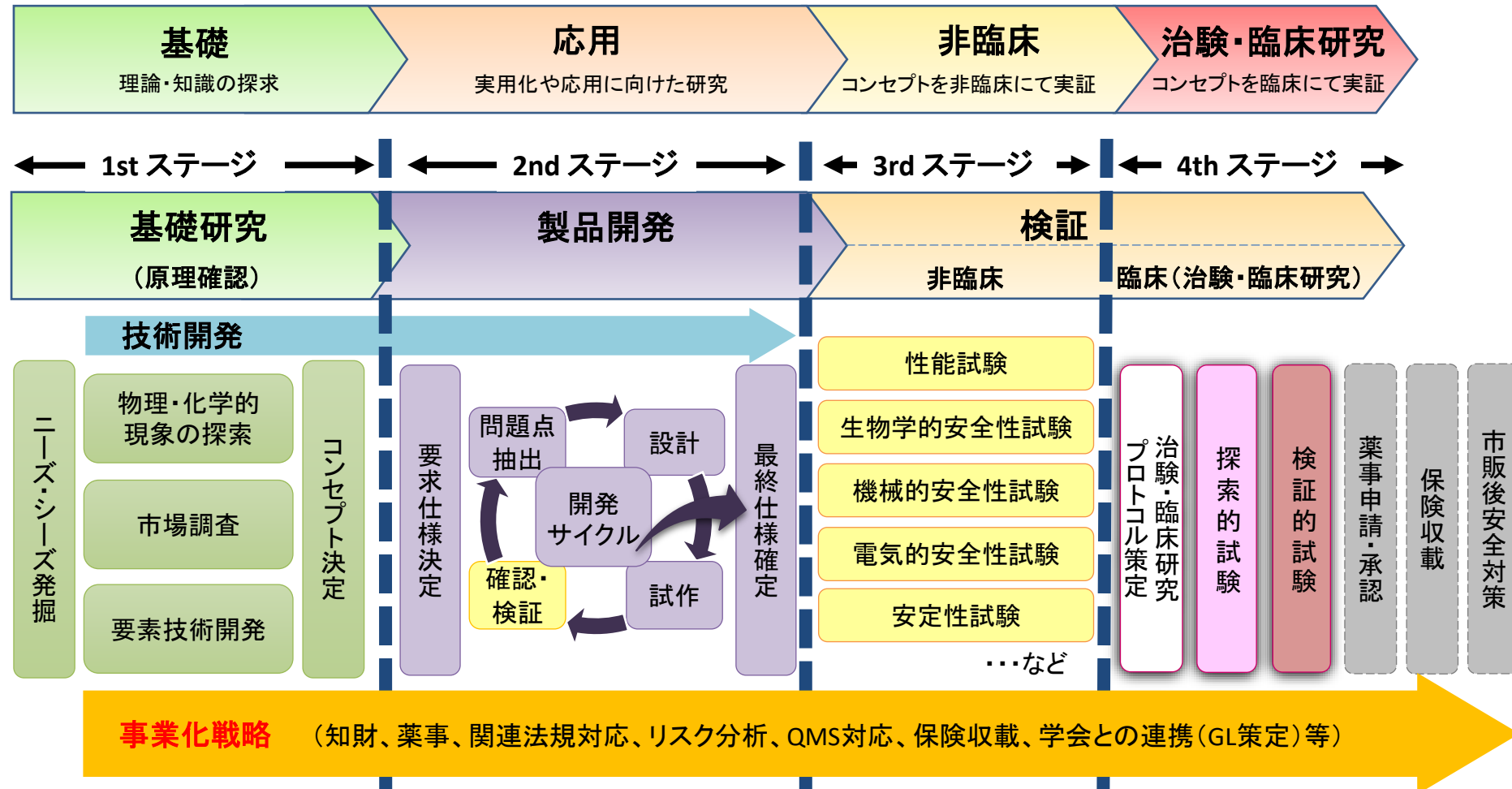
優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業について

令和7年2月14日

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
医療機器・ヘルスケア事業部
医療機器研究開発課 調査役

赤川英毅

医療機器開発でのステージゲート



※ 研究内容により、実施が不要な項目もあります

参考URL(https://www.amed.go.jp/koubo/medical_device_check.html)

優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業までの流れ



- 世界の医療機器産業市場は今なお成長を続ける産業のひとつである。一方で、医療機器の貿易収支は約0.8～1.8兆円（2015～2022年）の輸入超過となっている。
- 将来にわたり国民に安定的に質の高い医療が提供される環境を整備するためには、質の高い医療の提供に資する革新的医療機器を我が国において創出できる体制の整備が重要である。

2014-2018
年度

国産医療機器創出促進基盤整備等事業

（約1.5億円/年）

目的

医療機関において企業人材等の医療機器の開発人材を育成することを通じて、医療機器開発を担う医療機関の体制を整備し、国内外の医療ニーズを満たす医療機器開発を推進。

2019-2023
年度

次世代医療機器連携拠点整備等事業

（約2億円/年）

目的

これまでの成果を活用して、医療機器を開発する企業の人材育成拠点を増やし、更に各医療機関ならではの特色を活かした、医療機器産業の振興につながる魅力あふれる拠点を整備する。

2024
年度

優れた医療機器の創出に係る 産業振興拠点強化事業

（約7億円/年）

（ ）内：事業費

優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業のシエーマ



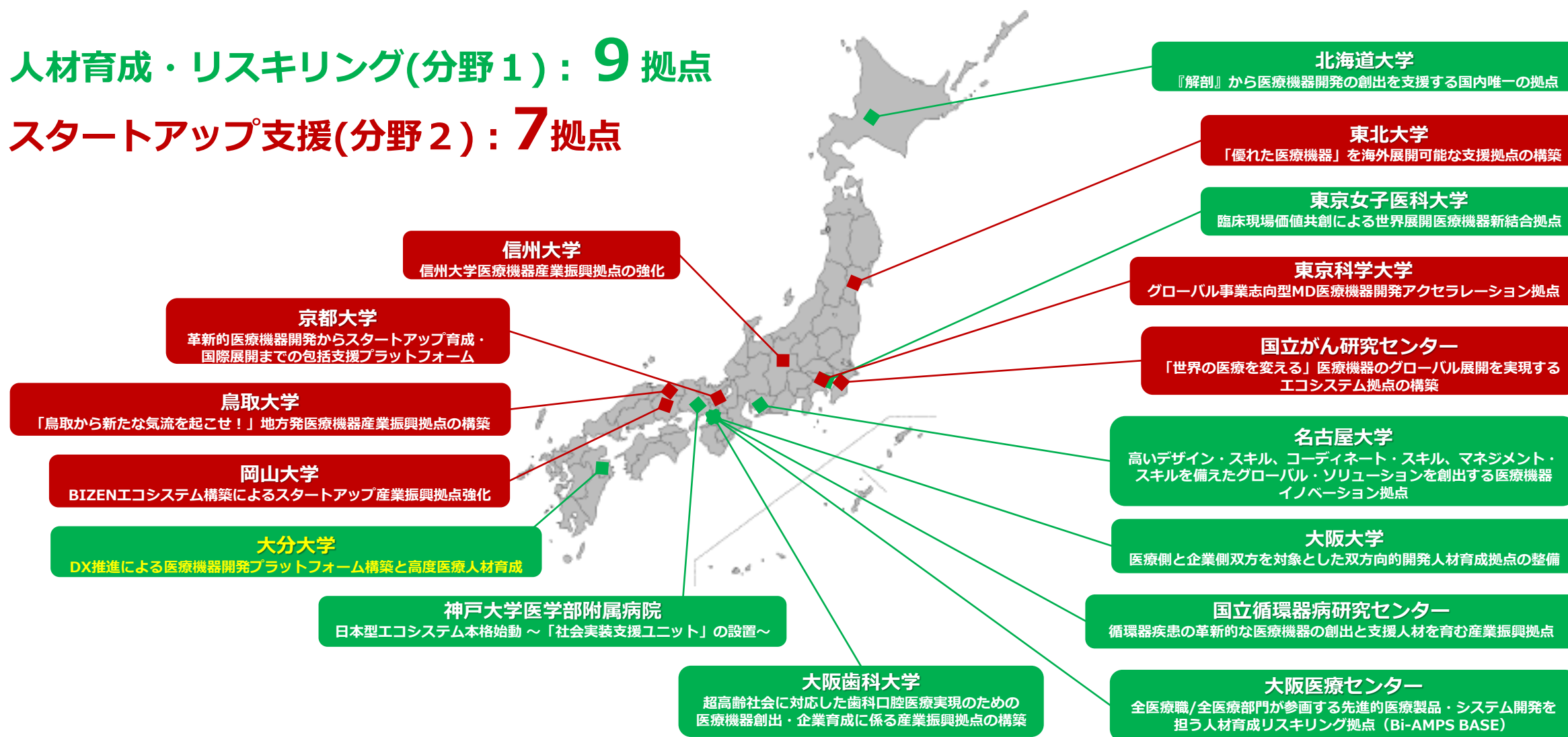
【事業の目的】 世界の医療機器産業市場は今なお成長を続ける産業のひとつである。一方で、医療機器の貿易収支は約1.6兆円の輸入超過となっている。将来にわたり国民に安定的に質の高い医療が提供される環境を整備するためには、質の高い医療の提供に資する革新的医療機器を我が国において創出できる体制の整備が重要である。第2期医療機器基本計画(令和4年5月31日閣議決定)に基づき、**医療機器産業等の人材を育成・リスクリングし、医療機器の創出を一貫して把握した高度人材の創出**及び**医療機器のスタートアップ企業の振興**ができる拠点の整備を進める必要がある。本事業を通じて、これらの課題を解決し、優れた医療機器を創出できるエコシステムを構築するため、**優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点**の充実・強化を図る。



本強化事業の採択拠点の取り組み

人材育成・リスクリング(分野1) : 9 拠点

スタートアップ支援(分野2) : 7 拠点



事業紹介ページ

AMEDホームページに本事業を掲載しています。

<https://www.amed.go.jp/program/list/12/01/014.html>

“AMED”、“優れた医療機器”で検索

